

予算決算委員会

予算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細に行いました。その後、予算決算委員会の全体会において、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

総務分科会



3月13日 (午前) 3月13日 (午後)

議案第3号 令和8年度鈴鹿市一般会計予算

救急活動にマイナ保険証を活用

○救急活動費／事務費 1,275万4,000円

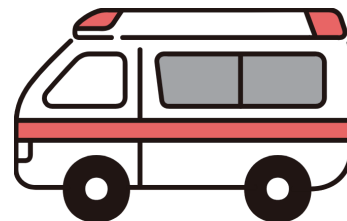
【概要】 救急活動上必要な医薬材料品などを購入し、感染防止に要する費用を支払うもの。また、救急隊員の感染防止対策として、各種予防接種を実施するもの。

質疑 マイナ救急の利用状況は。

答弁 全国720消防本部で実証事業を行っており、令和6年の本市の実証期間の救急搬送のうち、マイナ保険証の所有率は18.4%で、そのうち10.5%が有効に活用できた。

質疑 救急現場でのマイナ保険証利用の優位性は。

答弁 医療情報や薬の情報を患者に直接聞くことなく、情報が確認できるところが優位になっている。



文教環境分科会



3月12日 (午前) 3月12日 (午後)

議案第3号 令和8年度鈴鹿市一般会計予算

家庭ごみのふれあい収集で、高齢者などを支援

○ふれあい収集事業費 880万8,000円

【概要】 ごみ集積所への排出が困難な高齢者や障がい者を対象に、家庭ごみの戸別収集（ふれあい収集）を行うもの。

質疑 利用対象者の条件は。

答弁 介護保険の要介護3以上の認定を受けた方、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の2級以上をお持ちの方、療育手帳のAをお持ちの方で、単身または世帯全員がこの内容に該当する方が対象である。

質疑 収集車両はどのように運行する予定か。

答弁 200世帯の利用を見込んでおり、公用車1台に職員2名が乗車し、月曜日から金曜日までの5日間をかけて、1日当たり約40件ずつ収集する予定である。